

# 令和六年能登半島地震による

## 離島の被害と現況

本誌編集部

二〇二四年一月一日一六時一〇分、石川県能登地方、深さ一六キロメートルを震源として発生した能登半島地震（マグニチュード七・六）。石川県輪島市などで最大震度七を観測し、その後も現在に至るまで多数の余震が発生している。離島においては、石川県舩倉島（輪島市）で震度五弱、新潟県佐渡島（佐渡市）で震度五強を観測し、建物などに被害が生じたほか、日本海側の島々では津波などもみられた。

本稿では、国・県・地元自治体や関係機関の公式発表、各種新聞や被災した舩倉島の住民からの声などをもとに、同地震による離島での被害状況などを報告する。状況は三月二日時点。なお、未確認事項も含まれていることにご留意いただきたい。

### 舩倉島（石川県輪島市、六六人）…最大震度五弱被害

- ・被災当日は、北陸電力委託管理二名、海女一名の合計三名が在島していたが、人的被害（死者・けが人）はなし。
- ・住民の多くは、輪島市本土の海士町、鳳至町などに本拠がある二拠点生活。本土側拠点で建物倒壊などの被害あり。
- ・津波は舩倉島漁港（県管理第四種）で二・九メートルの痕跡高を確認（気象庁調査）。同漁港で防波堤、岸壁、物揚場、臨港道路が損傷、住居や漁協事務所などの建物倒壊、床上浸水あり。港内に漁具・ボート、家財道具などが散乱。
- ・定期船や漁船が発着する本土側の輪島港周辺の地盤が隆起。水深が浅くなったため、船の発着が困難となった。

## 避難・ライフライン

・ 舢倉島を含む海士地区（二六一世帯四一人）に一月五日から避難指示が発令中。輪島市立鳳至公民館（七八人）、輪島市立鳳至小学校（二八人）などに避難しているほか、被災地外への一時的な避難（二次避難）者もあり。

・ 一月三日ごろから自衛隊などが船・ヘリで来島し、避難を呼びかけ。一月一四日に自衛隊機にて島で被災した三名を本土へ搬送。

・ 衛星電話を除いて、電話・水道・電話が利用できず。二月三日、気象庁職員二人、北陸電力一人、作業器材などを自衛隊小松基地から舢倉島に自衛隊機で輸送。

・ 二月一七日に住民四名を含む関係者が日帰りで一時間帰島し、島の状況を確認。

## 交通

・ 輪島く舢倉島の定期航路（へぐら航路株式会社）は欠航中。輪島港の浅瀬等のため二月二九日に定期船「希海」（のぞみ）（九八トン）が輪島港から七尾港に回航。再開の目途は立たず。

・ 二月八日、震災後消灯していた舢倉島灯台が仮復旧（仮灯設置後、停電。電源は太陽光パネル）。

## その他

・ 国土地理院によると、島にある電子基準点「舢倉島」で南東方向に水平〇・三メートル程度の変動があった。

## 舢倉島の木村清成きよなり区長 談

私は、舢倉島で民宿を営んでいます。舢倉島は磯物などの海女漁が中心で、「輪島の海女漁の技術」は国の重要無形民俗文化財に指定されています。例年では、3～5月はワカメ漁、7～9月はサザエ漁が行なわれます。また、春から秋にかけてはバードウォッチングや釣りを楽しみに多くの人が訪れる観光の島としても知られてきました。

発災当時、私は新年のあいさつのため、本土側の海士町の自宅周辺にある親戚の家を訪れていました。舢倉島で生業をしている多くの人が年末年始のため、本土側で過ごしていたと思います。

今回の地震・津波により舢倉島のインフラや建物などは、大きな被害を受けました。島に住んでいた人は、現在もお互いの様子が十分に分からない中で避難生活を送っています。住民は、生まれ育った島に早く戻りたいと思っています。全国の海女さん、関係者の方から、心配と応援の声をたくさんいただきました。また、ありがたいことに観光で島に来られていた方からも、ボランティアのお申し出がありました。しかし、定期航路の再開もまだ先になると思われる、住民の帰島が実現しない現在では、観光客はおろか、災害復旧のために島外の皆さんにお越しいただこうにも対応できない状況です。輪島市の本土側の復旧も先が見通せない中、舢倉島の復旧・復興にまでなかなか手が回らないのではないかと感じています。

今は避難先で日々を過ごすのに精一杯の状態ですが、舢倉島に戻れる日に向かって一歩ずつ歩んでいきたいです。また、島を訪れることを楽しみにしている人たちのためにも、早く復旧して、元通りの賑わいある島に戻って欲しいと思っています。（2024年2月26日）

## ■佐渡島（新潟県佐渡市、五二四九二人）…最大震度五強被害

### 被害

- ・人的被害（死者・けが人）なし。
- ・住宅被害二九一棟（全壊四棟、半壊二五棟、一部損壊二六二棟）。
- ・津波は鷲崎で○・三メートルを観測。羽茂港<sup>はもと</sup>で三・八メートル、小木港<sup>おぎ</sup>で一・九メートルの痕跡高を確認（気象庁調査）。
- ・両津港や小木漁港の岸壁周辺で液状化が発生。島内道路の隆起・陥没で通行止めあり。
- ・水産市場の荷捌き所の配管に亀裂（市場機能に影響なし）。宿泊施設二三軒にて天井の一部崩落、備品破損、大浴場の配管破裂などの被害で一時休館あり。温浴施設、体育館など公共施設も休館あり。酒造会社で出荷前のビンが割れる、タンクから酒がこぼれるなどの被害。
- ・「佐渡島の金山」に関連する被害は一二件二〇箇所。相川金銀山と西三川砂金山でのり面（造成された斜面）の落石が確認。史跡佐渡奉行所跡で壁の一部の剥がれ、ヒビ割れ。
- ・佐渡トキ保護センターで塗装の剥離、ケージのネットのほつれ、切断による緩みなど。同野生復帰ステーションで基礎のコンクリートにクラック多数、扉や監視カメラ

の不具合、埋設管の破損による給餌装置の不具合、集水井戸の漏水、ケージのネットの緩みなど。

### 避難・ライフライン

- ・一月一日一六時一二分から翌二日一〇時まで全域避難指示。一月一日夜は二四箇所の避難所が開設され、二八三〇名が避難。

・配水管破損により、島内で最大六七六戸で断水。一月六日にはすべて復旧。

### 主な支援

- ・一月九日より罹災証明書の発行。
- ・佐渡市能登半島地震被災復旧応援金の交付（被災した住宅などの修理等に対する応援金を交付。住宅で最大一〇〇万円、非住宅で最大五万円）。
- ・地震により発生した災害ごみの手数料免除。
- ・地震により水道管が破損し、漏水した住民に対し、上下水道料金の減免。
- ・農地・農業用施設の復旧経費補助。
- ・佐渡市国民健康保険税／佐渡市国民健康保険一部負担金／新潟県後期高齢者医療制度の減免。
- ・生活福祉資金貸付制度（市福祉協議会が被災者に当座の生活費を無利子で貸し付け）。

## ■ その他の島々

### 避難

・栗島（新潟県粟島浦村、三五三人）では一月一日夜に二カ所の避難所を開設、一〇三名が避難。

・飛島（山形県酒田市、一五八人）では一月一日夜に二カ所の避難所を開設、八一名が避難。

### 最大震度

・新潟県粟島（震度三）、山形県飛島（震度二）、東京都、兵庫県、島根県、広島県、香川県、愛媛県の島々で震度一〜三を観測。

### 津波の観測

・奥尻島奥尻港（北海道奥尻町）○・五メートル  
・飛島（山形県酒田市）○・四メートル  
・隠岐西郷（島根県隠岐の島町）○・三メートル  
・対馬比田勝（長崎県対馬市）○・三メートル  
・杵岐島郷ノ浦港（長崎県杵岐市）○・二メートル

### ■ 国の動き

・内閣府防災情報のウェブサイトにて、被害状況や被災地支援情報を継続して発信中。

・一月一日、令和六年能登半島地震非常災害対策本部を設置。一月二五日、同本部会議で「被災者の生活と生業支

援のためのパッケージ」を決定、翌二六日に総額一五五

三億円の予備費の使用について閣議決定。生活の再建、生業の再建、災害復旧等の緊急対応策について取りまとめ

・二月一日、令和六年能登半島地震復旧・復興支援本部を設置。

・二月二二日、内閣府（防災担当）・内閣官房が「復興まちづくり」に当たっての参考資料」を公開。復興に活用可能な事業・制度を支援策概要集として別冊に取りまとめ。

### ■ 県の動き

・石川県、新潟県が被害状況や被災者、被災事業者、被災地の支援希望者に向けた情報を継続して発信中。

・一月一日、石川県および新潟県は各災害対策本部を設置。同日、両県はそれぞれ輪島市、佐渡市に災害救助法の適用を決定。一月六日、石川県は輪島市に被災者生活再建支援法の適用を決定。

・石川県は避難所外で、自宅や車中泊、親戚宅などに避難中の方などを対象に、連絡先登録窓口を開設中。

・新潟県は「被災者支援の手引き」として県の支援制度などを取りまとめ公開。

・二月一日、石川県令和六年能登半島地震復旧・復興本部を設置。